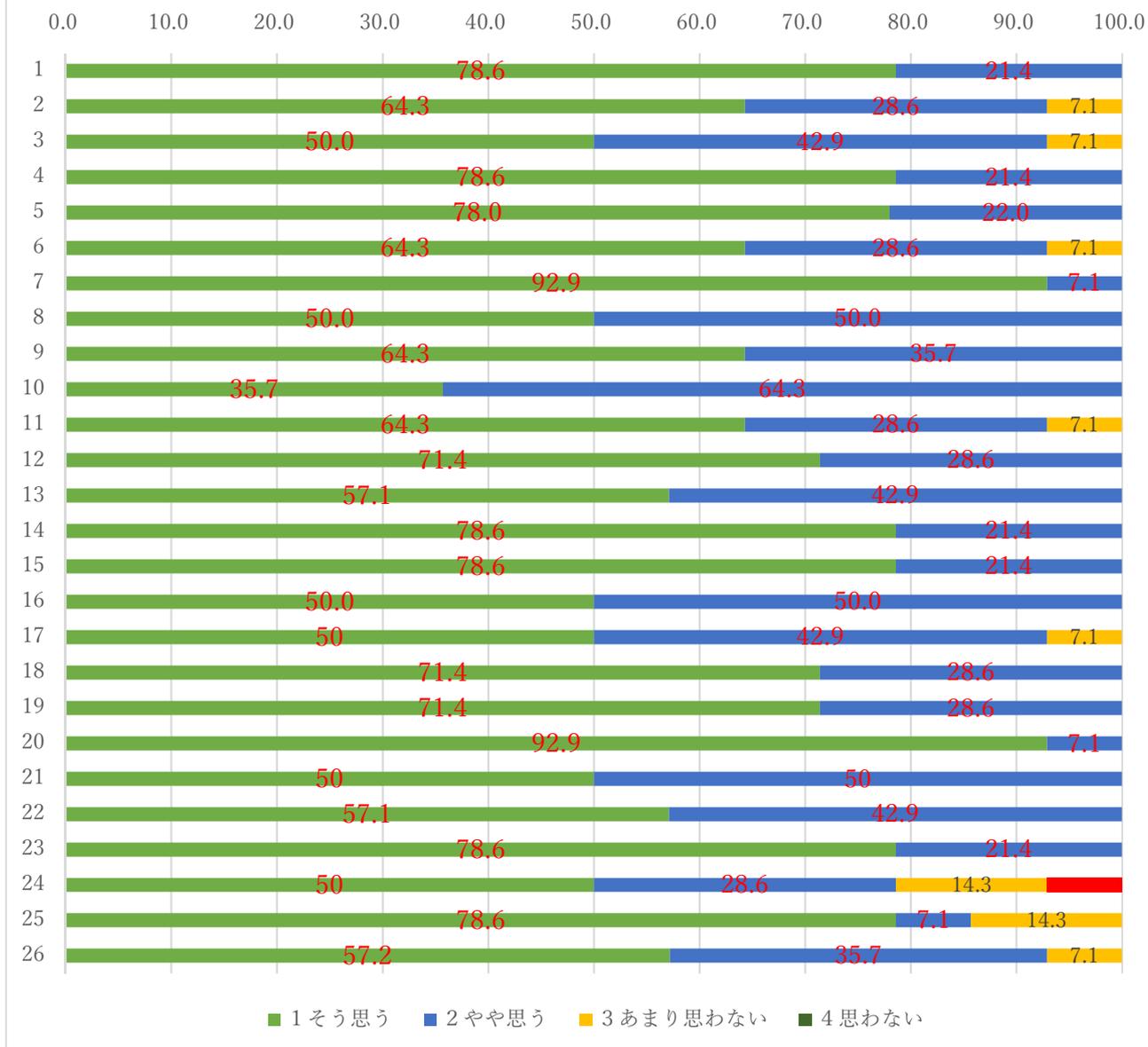


学校評価（教職員）



1. 学校運営について管理職は、リーダーシップを発揮している。
2. 学校運営に教職員の意思が反映されている。
3. 校務分掌は適性や能力に応じて決められている。
4. 教職員は互いに協力的に教育活動をしている。
5. 児童や保護者に関する報告や連絡・情報交換が日常的にできている。
6. 保護者との意思疎通の機会が十分にある。
7. いじめや様々な問題行動の防止について学校全体で取り組んでいる。
8. 自分なりの目標を持って1年間取り組めた。
9. 発表や作品提出などの児童も活躍できるように配慮している。
10. 忘れ物や徒歩通学など基本的な生活指導ができている。
11. 児童の挨拶・言葉遣い等について機会をとらえて指導している。
12. 家庭と連携しながら児童の指導を進めることができている。
13. 学力向上を目指し、授業内容・指導方法などの工夫・改善に努めている。
14. 危機管理意識をもって教育活動を行っている。
15. 体験活動や外部講師の招聘等、学習活動の工夫ができている。

16. 折に触れ、生き方について考えることや豊かな心を育てる指導をしている。
17. 年間計画に基づいて人権学習や道徳教育を進めている。
18. 児童が本を読むように朝の読書や読み聞かせ等の読書活動に取り組んでいる。
19. 学校の施設・設備等の安全管理に気をつけている。
20. 勤務区分や不祥事防止など服務規律を守るように気をつけている。
21. 事件・事故・災害等の危機に際し、迅速・適切に対応する準備ができています。
22. シュレッダーを利用する・パスワードを設定するなど、情報資産の保護・管理・廃棄に十分気をつけている。
23. 日々の活動における問題や悩みについて相談しあえるような教職員同士の人間関係ができています。
24. 時間的・精神的にある程度ゆとりある生活が送れている。
25. 年休・夏休等の休暇は取りやすい。
26. 情報教育によって指導環境が向上した。

その他、ご意見があれば、自由にお書きください。2件の回答

児童と教職員が落ち着いた環境で教育活動が展開できている。今後も継続して、より飛躍をめざし、人権教育を中核に据えた教育を推進していこうと考える。

今日の一般的問題として、働き方改革があるが、学校でのゆとりには難しいものがある。退勤4時30分は維持してほしい。